

第1回保護者アンケート集計結果

内海地区統合小学校

令和7年1月 小豆島町教育委員会



アンケートの概要

1. 目的

令和9年4月に開校する統合小学校づくりに関して、統合対象の星城、安田、苗羽小学校の児童保護者および内海地区の幼稚園、保育所、認定こども園等未就学児童保護者に対して、学校名称、通学支援、児童の服装などについて、統合準備委員会の案を提示して意向調査を行いました。

あわせて、児童・教員・保護者等にとってよりよい教育・職場環境づくりの参考にするため、統合小に求める教育方針や学校施設・設備についての希望調査をしました。

最後に、2,000字以内の自由記述で学校づくりに関する意見・要望をいただきました。

2. 方法

今回のアンケートは、すべてWEBアンケートフォームで実施しました。

フォームにアクセスするQRコードを記載した用紙を、各小学校、幼稚園、保育施設に協力していただいて保護者に配布しました。設問項目は小学生児童保護者用と未就学児童保護者用で少し異なっています。

回答は1世帯につき1回とし、長子がいる小学校と幼保にそれぞれ児童がいる場合は小学校保護者用アンケートに回答していただきました。



アンケートの概要

3. 期間

令和6年11月1日（金）から令和6年11月10日（日）まで 10日間

4. 調査対象・回答率

区分	学校別	対象数	回答数	回答率
小学校保護者	星城小	97	45	46%
	安田小	86	48	56%
	苗羽小	72	28	39%
	計	255	121	47%
未就学児保護者	町立幼稚園	13	12	92%
	内海保育所	26	10	38%
	せいけんじこども園※	65	47	72%
	計	104	69	66%
合 計		359	190	53%

※せいけんじこども園には、草壁保育園、院内保育所あずきっこを含みます。



調査結果・分析

1. 回答者について

【Q】 お子様が通っている学校をお答えください

学校別	回答数	割合
星城小	45	24%
安田小	48	25%
苗羽小	28	15%
町立幼稚園	12	6%
内海保育所	10	5%
せいけんじこども園	47	25%
計	190	100%
町立幼稚園	12	18%
内海保育所	10	15%
せいけんじこども園	47	67%
計	69	100%

【Q】 お住いの地区をお答えください

地区	回答数	割合	地区	回答数	割合
吉田	0	0%	堀越	3	2%
福田	5	3%	田浦	1	1%
当浜	0	0%	坂手	6	3%
岩谷	0	0%	片城	13	7%
橘	2	1%	神懸通	13	6%
安田	44	23%	草壁本町	15	8%
木庄	8	4%	西村	37	19%
馬木	16	8%	その他	7	4%
苗羽	19	10%	無回答	1	1%
古江	0	0%	合計	190	100%



調査結果・分析

1. 回答者について

【Q】 お子様全員について学年を以下から選択してください

【小学生】

学年	回答数
0～2歳児	10
3～5歳児	15
1年生	25
2年生	37
3年生	28
4年生	21
5年生	21
6年生	26
合計	183

【未就学児】

学年	回答数
0歳児	10
1歳児	15
2歳児	25
3歳児	38
4歳児	28
5歳児	21
合計	137

回答者の属性を把握するため、Q1からQ3で所属の児童の所属、地区、学年の調査をしました。

小学校児童保護者の回答率が47%、未就学児児童保護者の回答率は66%でした。

3小学校の4, 5, 6年生の児童数は合計187人（令和6年5月）ですが、お子様が4年生以上だけと答えた保護者の回答数が33であったことから、統合小学校に通学する予定がない児童の保護者の回答率が低いことがわかります。逆に未就学児童のみの保護者の回答率は比較的高くなっています。

今回のアンケートはすべてWEBフォームで実施しましたが、不具合等の報告はありませんでしたので、保護者向けアンケートは次回以降もWEBで実施します。

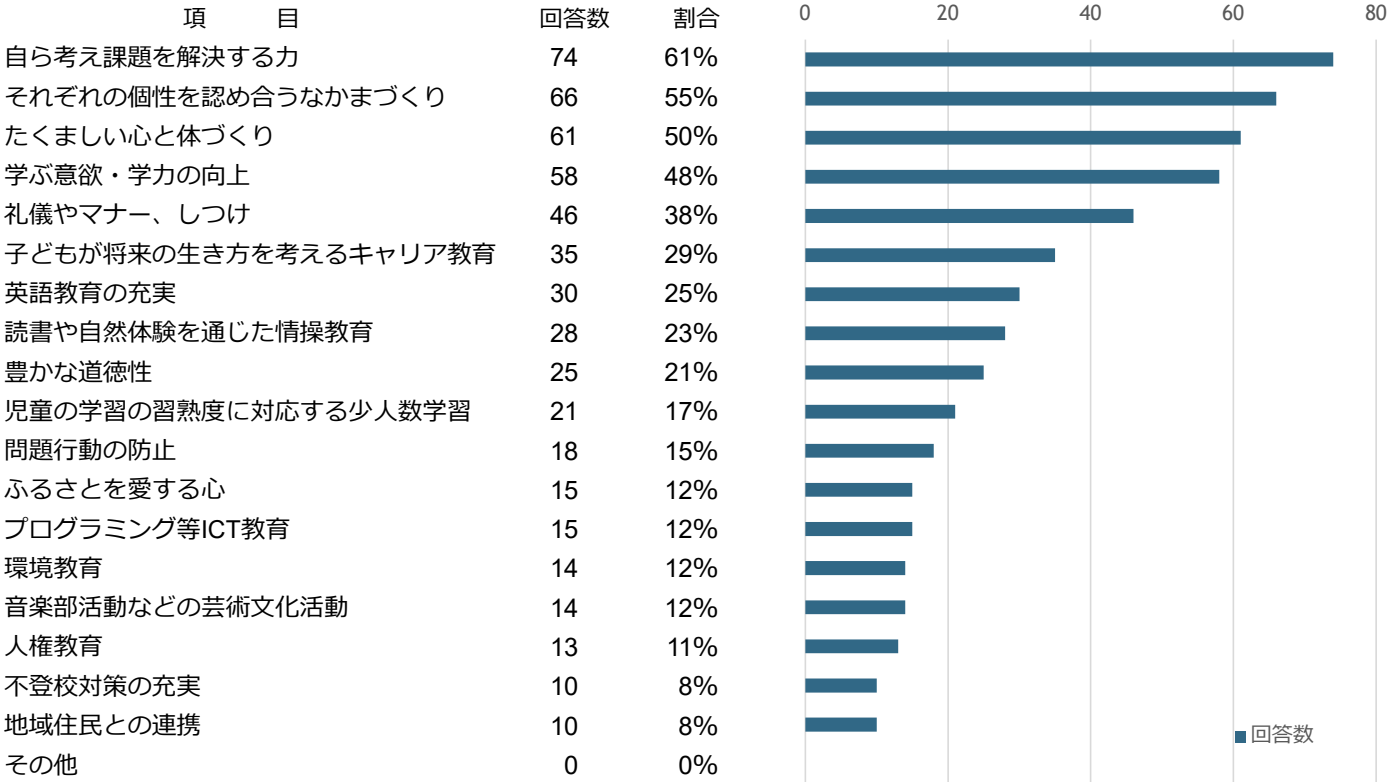
※0～2歳児、3～5歳児の区分に複数児童があるので総回答数190には合いません



調査結果・分析

2. 統合小学校の教育方針について (その1 小学生保護者)

【Q】新しい統合小学校の教育方針としてあなたが大切だと思うものを5つまで選んでください



統合小学校に期待する教育方針を選択肢のうちから5つ選択してもらいました。

まず、小学校児童保護者の結果です。

文部科学省が令和4年度に実施した「義務教育に関する意識調査」における保護者の回答と似た傾向がみられます。

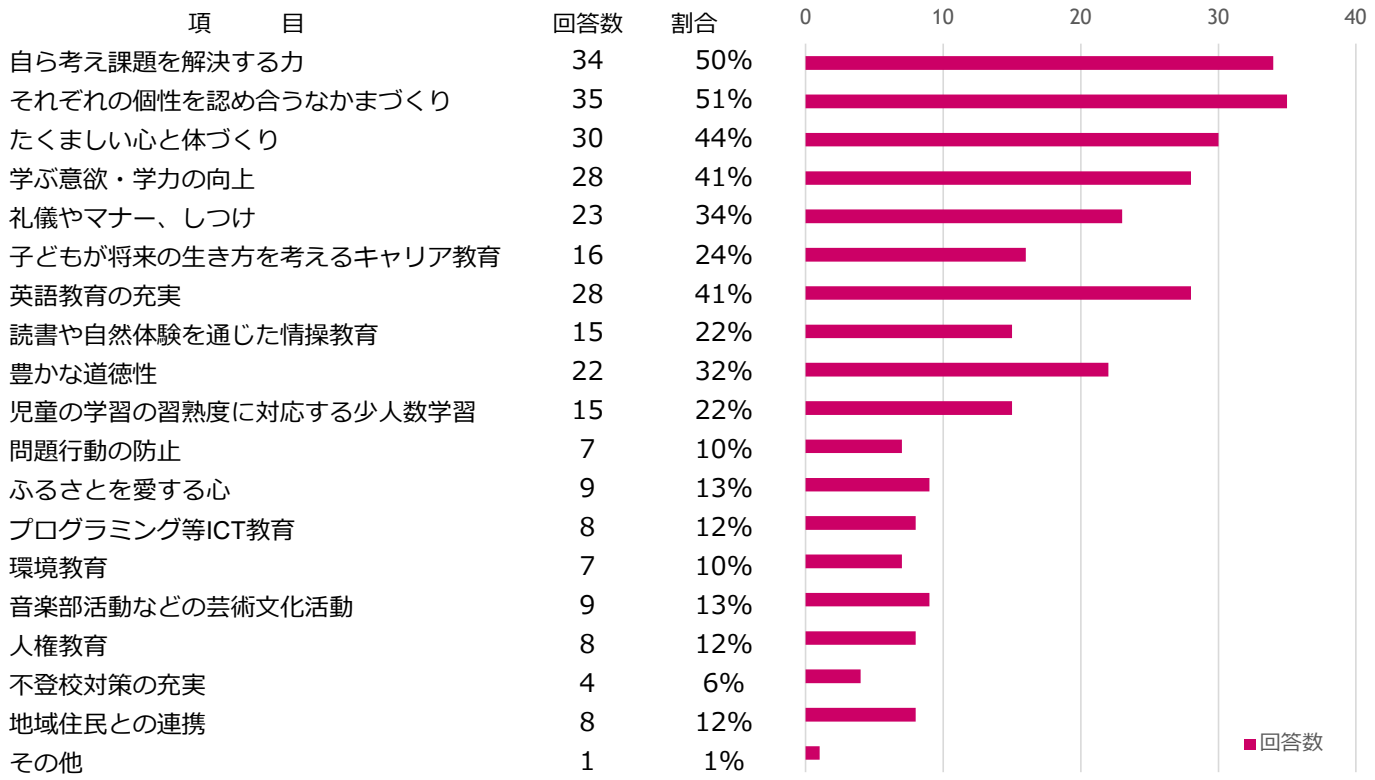
その中で「自ら考え課題を解決する力」が最も回答数が多かったことは特徴的で、「未来を生き抜く」「たくましく未来に生きる」といったこどもの力の育成は、現在、国・町で重点をおいて取り組んでいるところですが、保護者からも強く求められていることがわかります。



調査結果・分析

2. 統合小学校の教育方針について (その2 未就学児童保護者)

【Q】新しい統合小学校の教育方針としてあなたが大切だと思うものを5つまで選んでください。



未就学児童の保護者にも大切だと思う教育方針を選んでもらいました。

前のページの小学生児童保護者の回答グラフは、回答数が多い順に上から並べています。傾向を比較するために、未就学児童保護者のグラフ項目も同じ順に並べていますが、全体的によく似た結果になっていることがわかります。

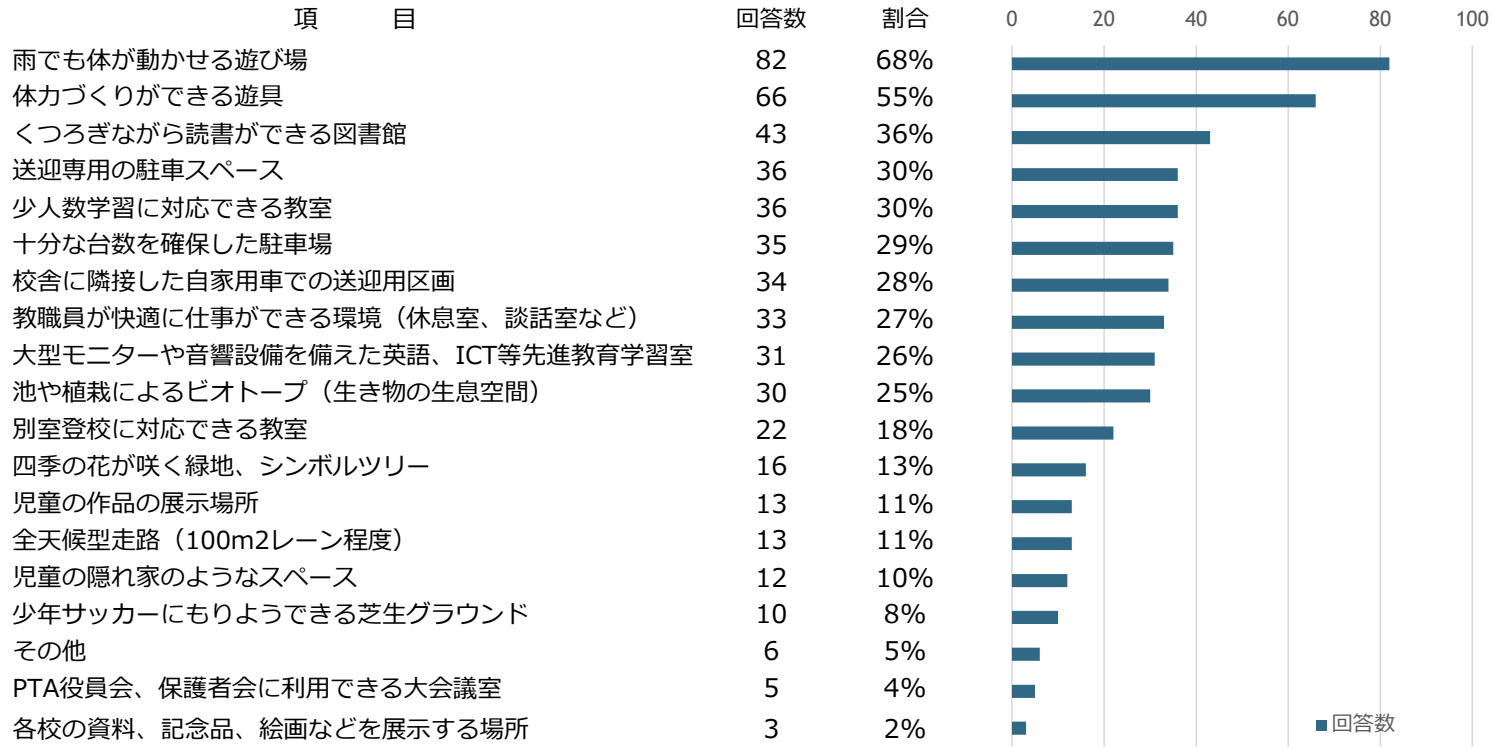
異なっている点として「英語教育の充実」「豊かな道徳性」の回答割合が、それぞれ10%以上小学生児童保護者の割合より大きくなっています。



調査結果・分析

3. 統合小学校の学校施設について (その1 小学生保護者)

[Q] 新しい小学校の学校づくりであなたが大切だと思うものを5つまで選んでください。



新設する統合小学校に希望する学校施設について、選択肢の中から5つ選んでもらいました。

みなさんにとってできるだけ満足度の高い学校施設にするため、アンケートで保護者の意向を把握し、教職員等の意見を照らし合わせて今後の設計の参考にしていきます。

小学生児童保護者の回答は、児童の体づくり、雨でも体を動かせる遊び場に意見が集中しています。

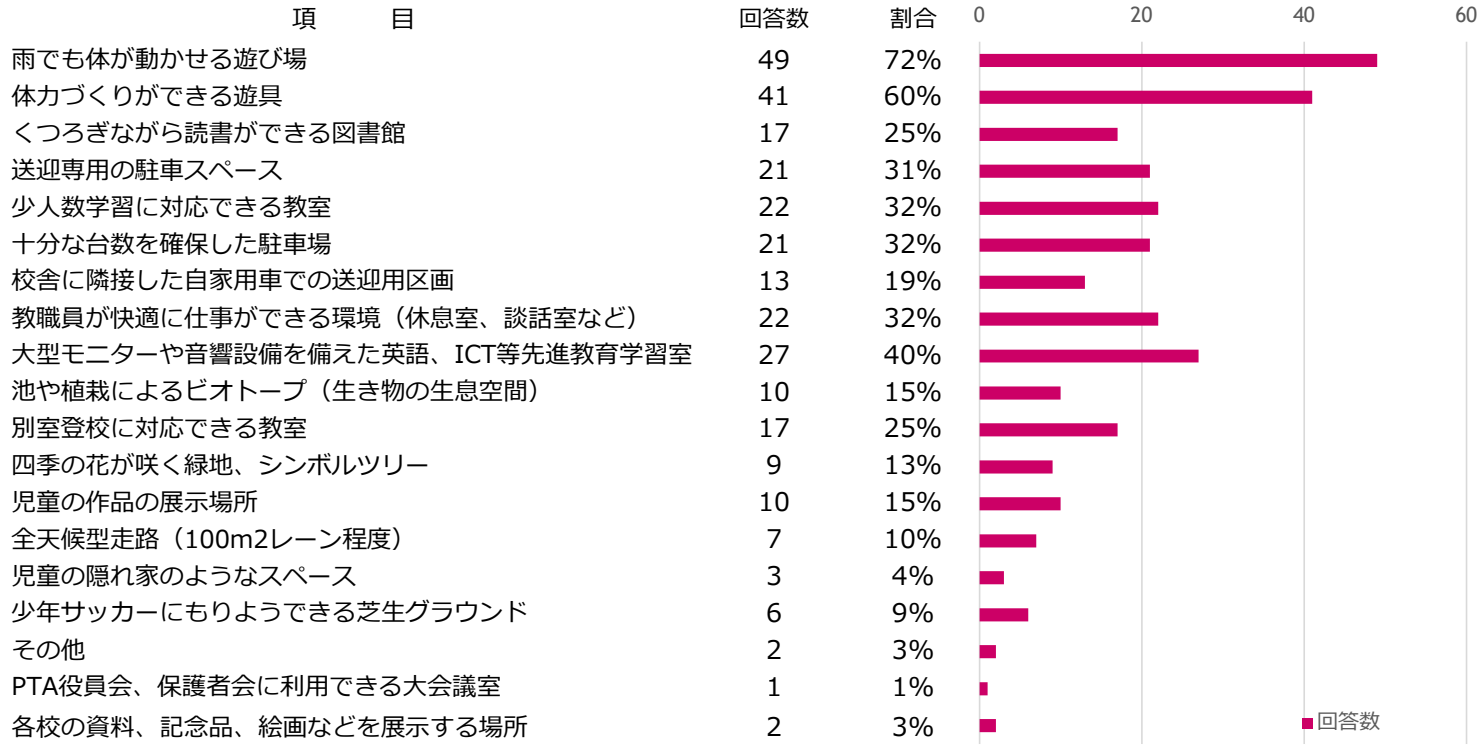
また、駐車場に関する回答も多く集まり、送迎等の目的に応じた駐車場の整備の重要性が明らかになっています。



調査結果・分析

3. 統合小学校の学校施設について (その2 未就学児童保護者)

【Q】新しい小学校の学校づくりであなたが大切だと思うものを5つまで選んでください。



未就学児童保護者の回答も、小学生児童保護者とよく似た内容になりました。

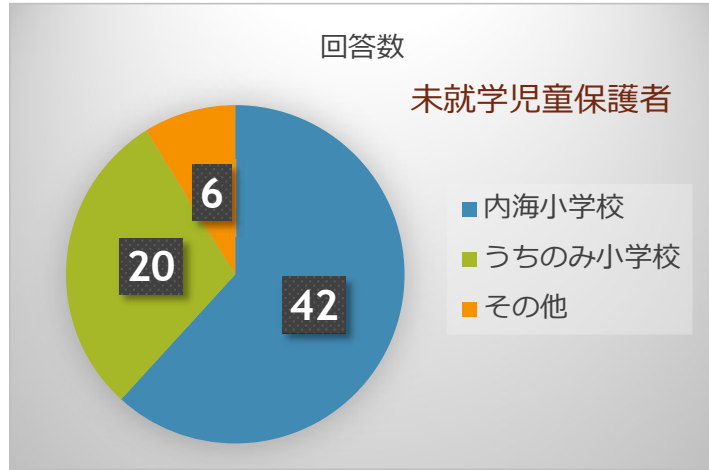
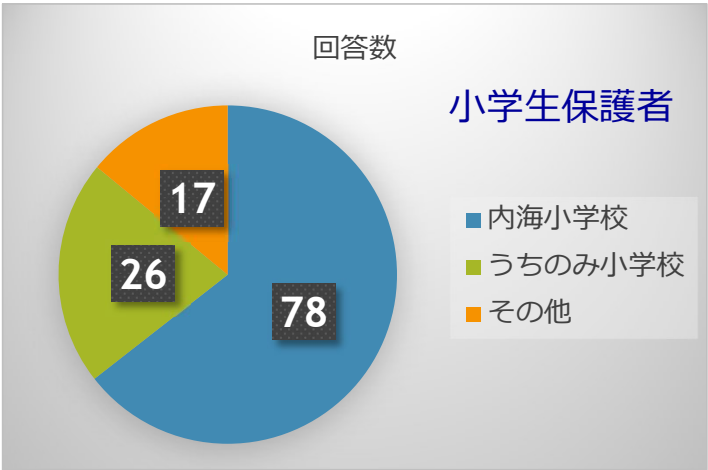
こちらも上位2項目に人気集中しました。近年は外遊びが難しくなっていますので、学校施設での遊びの中で存分に体を動かし、体力づくりにつなげていく必要性が高まっていると言えます。

注目すべき点として、小学生児童保護者と比較して、「先進教育学習室」が大切と答えた方が多いことがあげられます。教育方針の回答結果とあわせて、未就学児童保護者のほうが比較的先進教育への興味関心が高いことがわかります。

調査結果・分析

4. 統合小学校の名称について

【Q】新しい統合小学校の名前でふさわしいと思うものを選んでください



項目	回答数	割合
内海小学校	120	64%
うちのみ小学校	46	24%
その他	23	12%
合計	189	100%

統合小学校の名称について、「内海小学校」「うちのみ小学校」「その他」から選択してもらい、統合準備委員会が提案した「内海小学校」という校名案が、保護者にどの程度好意的に受け止めてもらえるかを確認しました。その他で「小豆島小学校」回答が11件ありましたが、この名称案は、統合後も小豆島町内および小豆島内に他の小学校があることから配慮が必要であるとして設問項目から除いています。

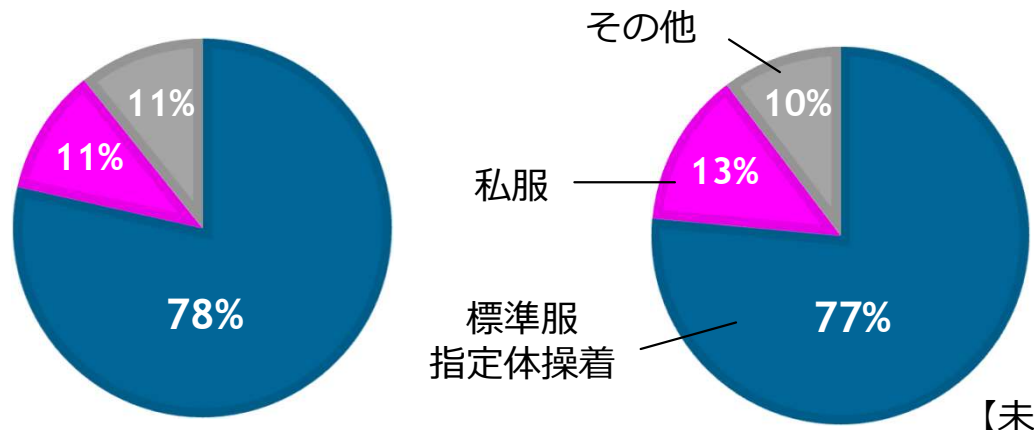
その他の内訳

小豆島小学校	11
小豆島東小学校	3
オリーブ小学校	2
小豆島うちのみ小学校	1
小豆島みらいの小学校	1
こまめ小学校	1
なし（公募）	3

調査結果・分析

4. 児童の服装について (その1 標準服、私服の希望選択)

【Q】新しい小学校の児童の服装について、いいと思うものを選んでください



【小学生】

【未就学児童】

「その他」を選択した方の意見の例

- ・ 標準服でも私服でも選ぶことができたらいいと思う
- ・ 標準服を「推奨」するのは子どもの多様性を受け入れることになっていない
- ・ 季節の寒暖差に対応出来なかったり、ジェンダーの視点からしてもあまりに時代遅れになっている
- ・ 風紀が乱れるという大人の心配は杞憂
- ・ 標準服という定義が世代により違うと感じる

統合小学校の児童の服装について、まず大きな方向性を確認するため「標準服」か「私服」を選択してもらいました。

小学生、未就学児童のどちらの保護者も「標準服・指定体操着」が良いと答えた方が多くなりました。香川県は古くからほぼすべての公立小学校で標準服（制服）を採用していて、町内保護者の多くが小学校時代に標準服を着ていたこともこの結果に影響していると思われます。

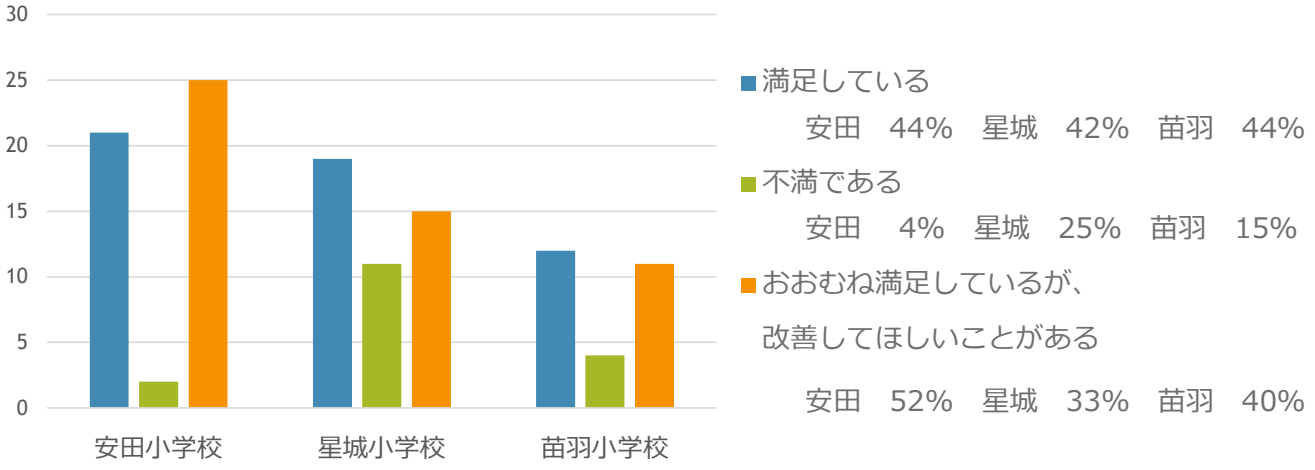
しかし、全国的には私服通学が大半で、標準服に違和感を持つ保護者がいることはごく自然なことです。

結果数値には大きく差がありますが、今後のスムーズな学校運営のため、その他の意見で寄せられた「選択制」についての定義など、さらに調査、議論を重ねる必要があります。

調査結果・分析

4. 児童の服装について (その2 現在の標準服への意見)

【Q】 現在通っている学校の標準服（制服）について、あてはまるものを一つ選んでください



小学校児童保護者に現在の標準服の満足度、改善点を伺い、学校ごとにクロス集計をしました。おおむね満足していただいているようですが、「不満である」の回答が星城小で25%と、やや割合が高くなっています。

改善点は多く寄せられました。汚れのつきにくさ、落ちやすさ、速乾性などの機能面やデザイン、価格など非常に幅広い意見がありました。

- 「不満である」「改善してほしい」と回答した理由の例**
- ・分厚い 汚れが落ちない
 - ・動きづらい 暖かくない
 - ・プリーツスカートのメンテナンスは保護者泣かせ
 - ・値段が高く買い替えにくい
 - ・デザインが古い
 - ・汚れやすい 洗濯しにくい
 - ・適応サイズが買いにくく、大きいとだらしく見えやすい
 - ・首もとのボタンが低学年だとやりずらそうにしている
 - ・体操服、靴下の指定をなくしてほしい
 - ・靴下も紺やグレーも自由にしてほしい
 - ・女子もパンツスタイルが選べるようにしてほしい
 - ・スカートの肩紐がずれてくる



調査結果・分析

5. 通学支援について (その1 現在の通学状況)

【Q】現在のお子様の通学方法（登校時、下校時）をお答えください

登校時	回答数	割合
徒歩のみ	46	38%
徒歩（雨天時は自家用車）	30	25%
スクールバス	23	19%
路線バス	6	5%
自家用車（学校まで）	16	13%
合計	121	100%

下校時	回答数	割合
徒歩のみ	43	36%
徒歩（雨天時は自家用車）	13	11%
スクールバス	5	4%
路線バス	15	12%
スクールタクシー	1	1%
自家用車（学校から）	8	7%
自家用車（学童保育から）	33	27%
その他	3	2%
合計	121	100%

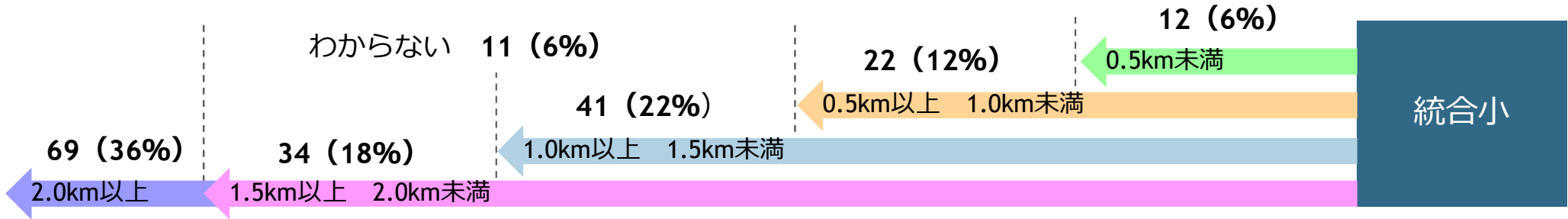
小学生児童の保護者に対して、現在の通学方法を伺いました。
登下校ともに、多くの保護者が自家用車で送迎していることがわかります。



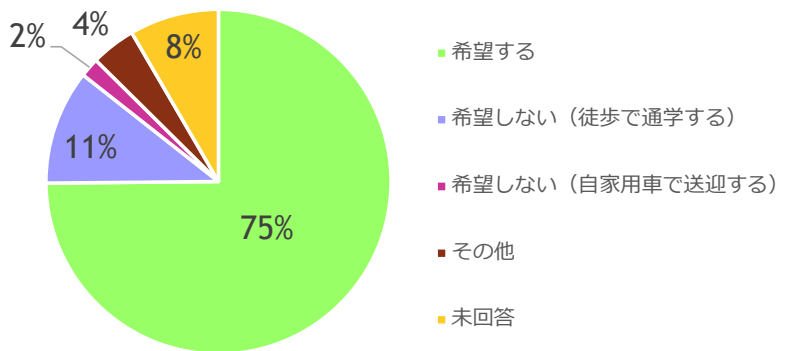
調査結果・分析

5. 通学支援について (その2 通学距離と支援希望)

【Q】 ご自宅から統合小学校までの距離をお答えください



【Q】 ご自宅から統合小学校までの距離が1キロメートル以上の場合、通学支援を希望しますか



自宅から統合小学校までの距離を聞き、1.0 km以上になる保護者の通学支援希望を調査しました。

統合によって学校区が非常に広がるため、全児童の7～8割程度が1.0 km以上の通学距離になる見込みです。

1.0 km以上の通学距離になる保護者は、距離にかかわらずほとんどがスクールバス等による通学支援を希望しています。



自由記述意見

区分	アンケート回答数	自由記述記入者数	記入率
小学校保護者	121	48	39%
未就学児保護者	68	30	44%
合計	189	78	41%

自由記述は回答負担が高いため記入率が低くなる傾向にありますが、アンケートに回答した保護者のうち、4割を超える方から自由記述意見の記入がありました。

交通安全や児童の服装についての具体的な意見や要望、こんな学校になったらいいなという希望、統合小学校の教育目標など、非常に厳しいご意見も含めて貴重な声を寄せていただきました。

今後の統合小学校づくりの協議に役立ててまいります。ご協力ありがとうございました。